

# 令和8年度予算見積調書

課室名：疾病対策課  
担当名：総務・疾病対策担当  
内線：3598

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
S230	肝炎治療特別促進事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	肝炎対策推進費
事業期間	平成20年度～	根拠法	肝炎治療特別促進事業実施要綱(国)(県) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実施要綱(国)(県)	針路分野施策	0601	人生100年を見据えたシニア活躍の推進 生涯を通じた健康の確保	SDGsゴール3 SDGsターゲット3-3	
1 事業概要	肝炎治療を行う患者に対し医療費を助成する。  ア 肝炎医療費助成事業 385,364千円 イ 肝がん・重度肝硬変医療費助成事業 19,432千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 肝炎医療費助成事業 385,364千円 C型肝炎ウイルスの根治を目的として行うインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療で保険適用となっている対象医療の自己負担分の一部を助成する。 イ 肝がん・重度肝硬変医療費助成事業 19,432千円 B型C型肝炎ウイルスに起因する肝がん及び重度肝硬変患者の特徴を踏まえ、患者の医療費の負担の軽減を図りつつ患者からの臨床データを収集し、肝がんの予後の改善や生活の質の向上、肝がんの再発防止の抑制などを目標とした、肝がんの治療研究を促進するための仕組みを構築する。				
2 事業主体及び負担区分 【厚生労働省】	感染症予防費補助金 ア(国1/2・県1/2) イ(国1/2・県1/2)			(2) 事業計画 ア インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療により、早期治療の促進と肝硬変・肝がんの予防、患者家族の医療費の負担軽減を図る。 イ 肝がんの外来(分子標的薬を用いた化学療法、肝動注化学療法及び粒子線治療に限る)及び肝がん、重度肝硬変の入院医療費を対象に、24か月以内に高額療養費の限度額を超えた月があった場合に、2か月目以降に係る患者の医療費の負担の軽減を図る。				
3 地方財政措置の状況	なし			(3) 事業効果 ア 将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止 イ 肝がん及び重度肝硬変の治療研究の促進				
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.1人=10,450千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源 前年との対比
決定額	404,796	国庫支出金						202,398 453
前年額	404,343	202,171						202,172

## 事業内訳書

事業名	肝炎治療特別促進事業費		
単位事業名	肝炎医療費助成事業	予算額	385,364千円

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	192,682	△1,423	【厚生労働省】 感染症予防費補助金 補助率 1/2
一般財源	192,682	△1,424	
合計	385,364	△2,847	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	577	0	審査会委員謝金 3人分 12回
需用費	2,270	0	消耗品、受給者証台紙印刷代
役務費	3,469	0	受給者証送料
委託料	27,694	14,841	患者の認定審査業務委託 1,291千円 事務作業経由事務委託 1,581千円 肝炎医療費助成システムの保守・改修業務委託 24,822千円

単位事業名	肝炎医療費助成事業	予算額	385,364千円
-------	-----------	-----	-----------

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	1,530	0	審査会会場使用料 2回分 担当者説明会会場使用料 2回分
扶助費	349,824	△17,688	埼玉県肝炎治療特別促進事業実施要綱に基づく扶助費
合計	385,364	△2,847	

単位事業名	肝がん医療費助成事業	予算額	19,432千円
-------	------------	-----	----------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	9,716	1,650	【厚生労働省】 感染症予防費補助金 補助率 1/2
一般財源	9,716	1,650	
合計	19,432	3,300	

単位事業名	肝がん医療費助成事業	予算額	19,432千円
-------	------------	-----	----------

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	65	0	審査会委員謝金 3人分 12回
需用費	489	0	消耗品、受給者証台紙印刷代
役務費	1,899	0	受給者証送料
委託料	10,095	3,300	患者の認定審査業務委託 191千円 事務作業経由事務委託 251千円 肝炎医療費助成システムの保守・改修業務委託 9,653千円
使用料及び賃借料	161	0	審査会会場使用料 2回分 担当者説明会会場使用料 2回分
扶助費	6,723	0	埼玉県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業実施要綱に基づく扶助費
合計	19,432	3,300	